



## 製品安全データシート

## 1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成18年5月28日

化学物質等のコード : 7250-2740

化学物質等の名称 : マンガン, 片状

## 2.危険有害性の要約

分類の名称 : 有害性物質  
危険性 : 空気中で加熱すると燃焼することがある。  
粉塵状態では粉塵爆発を起こすことがある。  
有害性 : 粉塵を長期間吸入すると、頭痛、不眠、関節の痛みなどを起  
こし、中枢神経に影響を与え、仮面様顔貌、パーキンソン氏  
病様症状を起こす。

## 3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名 : マンガン  
成分及び含有量 : マンガン 99.99%  
化学式または構造式 : Mn  
分子量 : 54.938  
官報公示整理番号(化審法): 対象外  
構造別分類コード(労安法):  
CAS No. : 7439-96-5  
EINECS No. : 2311051  
RTECS No. : 009275000

## 4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受  
ける。  
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。  
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受け  
る。  
皮膚にふれた場合 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。  
飲み込んだ場合 大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師  
の診断を受ける。

## 5.火災時の処置

消火方法  
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する  
(着火した場合) 初期の火災には、水、粉末、二酸化炭素を用いる。  
更に必要があれば、泡消火器を用いる。  
消火作業の際には必ず保護具を着用する。  
消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡、水

## 6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺には口 - プを張るなどして人の立入りを禁止する。作業  
の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。飛散したものは、で  
きるだけ掃き集めて、空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。  
この場合、濃厚な排液が河川などに排出されないように注意する。

## 7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意  
皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。  
保管上の注意  
密栓して冷暗所に保管する。

## 8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 1mg/m3

許容濃度 日本産業衛生学 :0.3mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵、Mnとして)  
(1994年度版)  
ACGIH : 1mg/m<sup>3</sup>(ヒュームとして)  
(1994年度版)

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具

・保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

---

9.物理的及び化学的性質

外観形状特性 赤灰色または銀色のもろい金属。  
比重 7.4  
融点 1,244  
沸点 2,097  
溶解度 水 徐々に溶解する。  
その他 酸に可溶。

---

10.安定性及び反応性

引火点 450  
可燃性 空気中で加熱すると、燃焼することがある。  
爆発限界 上限 データなし  
下限 データなし  
安定性・反応性 酸に溶けて、爆発性のある水素ガスが発生する。  
発火点 データなし  
粉塵爆発性 粉塵状態では粉塵爆発を起こすことがある。

---

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性

急性毒性(50%致死量等を含む)  
粉塵を吸入すると、鼻、のどが刺激される。  
ラット 経口 LD50 = 9g/kg  
亜急性毒性 データなし  
慢性毒性 粉塵を長期間吸入すると、中枢神経に影響を与え、仮面様  
顔貌、パーキンソン氏病様症状を起こす。

刺激性(皮膚、眼) : 眼に入ると、眼を機械的に刺激する。  
ウサギ 皮膚 500mg/24H Mild  
ウサギ 眼 500mg/24H Mild

感作性 : データなし  
変異原性 : データなし  
変異原性(微生物、染色体異常): データなし  
皮膚腐蝕性 : データなし  
がん原性 : データなし  
生殖毒性 : データなし  
催奇形性 : データなし  
安全管理上の留意事項 : データなし  
その他 : データなし  
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)  
: データなし

---

12.環境影響情報

分解性 : 分解しない  
蓄積性 : データなし  
魚毒性 : データなし

---

13.廃棄上の注意

土中に埋立処理をする。

---

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。  
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。  
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)  
輸送に関する国際規制  
陸上輸送 : データなし  
海上輸送 : データなし  
航空輸送 : データなし  
国連分類番号 : 分類の定義上危険物に該当しない。  
国連番号 :  
国連分類番号及び国連番号 :

15.適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び  
管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)別表第一 311  
労働安全衛生法施行令等の一部改定第18の2別表  
第9「名称等を通知すべき有害物」 548  
労働安全衛生法 : 施行令別表第3特定化学物質等(第2類物質)

---

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。